

新たな高大接続の時代に向けて

高大接続センターを設置



関西学院大学
学長 村田 治

本学におきましては、おかげさまをもちまして、昨年9月に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択されました。引き続き、本学のミッションである「MASTERY FOR SERVICEを体現する世界市民の育成」とともに、スーパーグローバル大学創成支援事業の趣旨である大学改革を推し進め、徹底した国際化を進めてまいる所存です。

さて、このほどスーパーグローバル大学としての取り組みの一環といたしまして、高等学校教育から大学教育への円滑な接続と、大学入試改革を推進する取り組みを加速させることを目的とし、入試部を改組し、新たに**高大接続センター**を設置することと致しましたので、ここにご報告申し上げます。

高大接続センターにおきましては、新たな業務としてスーパーグローバルハイスクールやスーパーサイエンスハイスクールなど、知識・技能の活用を図る課題研究の取り組みを行う高等学校への支援を行います。専門的知識の付与のための大学教員派遣や、国連ユースボランティア参加学生や交換留学生の派遣による国際理解教育への支援、キャリアフォーラム「国際機関で働く」などでの国際機関でのキャリア教育、生徒のコンピテンシー涵養のための教育方法についての教員研修などを軸とした高大連携事業に取り組みます。

また、入学試験改革として2016年度より英語外部検定試験を活用した入学試験をセンター利用入学試験で実施しますが漸次これを拡大し、さらに高等学校における課題研究などの取り組みを評価する多面的・総合的評価を伴う入学試験、知識・技能の活用力を測定する入学試験などの導入を行い、高大接続・入試改革のための積極的な取り組みを行って参ります。

関西学院大学高大接続センターの取り組みイメージ



*スーパーグローバルハイスクール (SGH) / *スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

いずれも文部科学省による高等学校における国際的人材育成の取り組み。

SGHは、2014年度から国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を目的として指定・支援を開始。

SSHはすでに2002年度から、先進的な理数教育の実施などを目的に指定・支援が実施されている。



平成 26 年度文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択



関西学院大学 高大接続センター



高大連携の取り組み事例

SGH 指定校・SSH 指定校・教育連携校への 教員派遣による専門教育授業・講演

生徒が設定した課題研究のテーマに対応する本学の既存の授業で、生徒が修得可能と判断できるレベルの授業を本学学生とともに生徒が受講したり、高等学校が設定したプログラムに対応する高等学校における授業に、本学教員を派遣するものです。

昨年度は大阪府立北野高等学校や京都市立堀川高等学校などのSGH指定校を中心に多くの高等学校と連携、支援を展開しました。

また、大阪府立高等学校SGH指定校の管理機関である大阪府教育委員会と包括協定を結び、SGH指定校生徒の評価指標の作成を進めています。



大阪府立北野高等学校での
連携授業



京都市立堀川高等学校での
連携授業

17の国・地域に約70人の学生を派遣しています。

それら、国連ユースボランティアや国際社会貢献活動を経験した本学の学生を、国際的な課題研究のテーマに則して派遣し、開発途上国での業務経験や、学生が修得しているプロジェクトサイクルマネジメントの手法をふまえて課題研究に取り組む生徒へのアドバイスをを行っています。

交換留学生とのワークショップ

本学には、中国・韓国を始め世界各国から来日し、正規課程に在籍、学位取得を目指す外国人留学生が約600名在籍しています。

彼らを高等学校へ派遣し、多種多様なワークショップ、講演会等や国際交流プログラムを提供しています。



大阪府立北野高等学校での
交換留学生によるワークショップ

「国際機関で働く」などのキャリアセミナー

将来、国際協力、開発援助の分野での活躍を志す方を対象に、国際機関等で活躍中の方々による講演・パネルディスカッション、さらに参加者との双方向ワークショップを通して、国際協力という仕事のさまざまな形とキャリア構築に役立つ機会を提供しています。

協力は、国連開発計画、国連ボランティア計画、国連児童基金、世界銀行、アジア開発銀行、外務省国際機関人事センター、独立行政法人国際協力機構(JICA)などです。

国連ユースボランティア等 国際社会貢献活動参加学生による 講演・ワークショップ

本学は“Mastery for Service”のスクールモットーに基づき、世界で3番目、アジアで初めて国連ボランティア計画(UNV)と協定を締結、2004年度から「国連学生ボランティアプログラム(現:国連ユースボランティア)」を行ってきました。2013年度までに



高大接続に関わる新たな入学試験の紹介

SGH 公募推薦入学試験、SSH 公募推薦 入学試験、教育連携校公募推薦入学試験

スーパーグローバルハイスクール事業(SGH)では急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付けることを重視し、教育プログラムの開発を目指しています。また、スーパーサイエンスハイスクール事業(SSH)においては、高等学校及び中高一貫教育校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、将来国際的に活躍しうる科学技術人材等の育成を図ることを目指しています。

本学はこれらSGHやSSH、本学が教育連携を行う高等学校において、課題研究を通じて能力を高めた生徒を、多面的・総合的に評価を行い、積極的に受け入れ、本学が採択されたスーパーグローバル大学事業への接続を促進するための公募推薦入学試験を実施します。

英語外部検定試験を利用した入学試験

経済・文化などあらゆる場面においてグローバル化が急速に進展し、以前にも増して様々な分野で英語力が求められる時代。

総合的な英語力を身に付けることは、各界で活躍する可能性を大きく広げるとともに、日本の国際競争力を高めていく上での重要な要素になっています。

本学では、グローバル人材育成を推進するための入試改革の一環として、2016年度入試より英語の外部検定試験のスコアを利用した一般選抜入学試験を導入します。この入試では、英語の外部検定試験のスコアと大学入試センター試験の成績を総合して選抜を行います。

本学では、この入学試験を実施することによって、英語の4技能に優れた学生を選抜し、グローバル人材育成をさらに推進したいと考えています。